

琉球大学学術リポジトリ

ウール（羊毛）の手入れと管理

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-07-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 仲井真, 治子, Nakaima, Haruko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/21055

“ウール（羊毛）の手入れと管理”

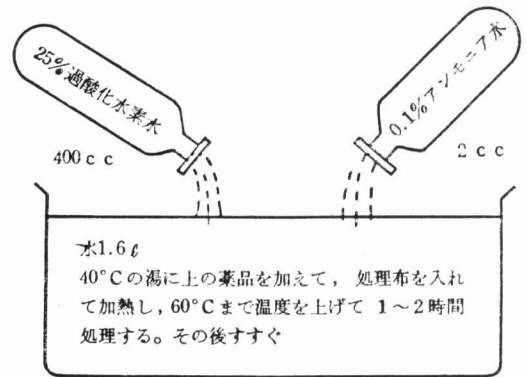
秋，冬はウールが美しい季節です。特に秋から初冬にかけてのウールの着用は他の繊維製品にはみられない適度なしなやかさと適度なはりを持っています。ウールの持つ毛羽立ち，着心地の良さも他の新しい繊維が未だに及ぶところではありません。今回はウール製品の持味を保持するにはどういう点に注意を向ければ良いか，という面からこのテーマを取り上げました。

ウールの性質は？	
汚れは	つきやすい
汚れの落ちは	落ちやすい
酸，アルカリには	アルカリに弱い
日光に対しては	弱い
水につけると	10%弱まる
お湯の温度は	30°C（最後まで一定）
洗剤の種類は	中性洗剤

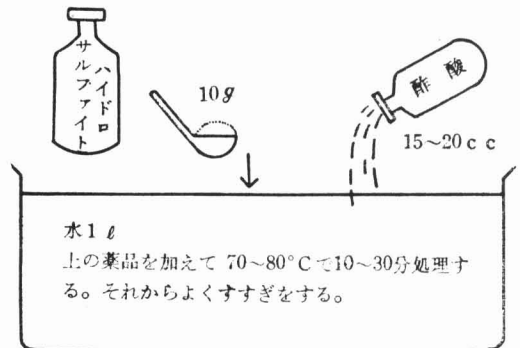
洗濯については？	
予洗は	しない
本洗には	押しつけ洗い（洗剤をかえて2度洗う）洗濯機の場合はアミの袋に入れて洗う。
すすぎは	ぬるま湯で2回
しぼり方	布地を用いて水気を取る。
干し方	日陰干し

ウールの漂白は？

A 過酸化水素法



B ハイドロサルファイト法



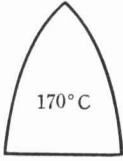
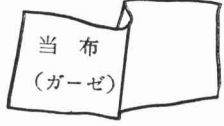

危険な薬品は？

アルカリ性薬品，カルキ

ウールの仕上剤

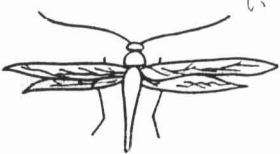





ゼラチン（若い動物の革からとる）

アイロンかけは？

用具	 <p>スチーム アイロン</p> <p>チュッ パチッと いう音がして水滴 は飛散する。</p>	 <p>当布 (ガーゼ)</p>	 <p>クラッパー</p> <p>厚板製</p>
方法	<p>ガーゼ（一枚）の上からアイロンの蒸気だけを吹きかけながらクラッパーで押していく。 ウールの毛羽が縮絨したり，生地がつるつるになるのを防ぎ毛羽立ちが自然にふっくらと仕上がります。</p>		

害虫の侵害

A ウールにつく害虫は？

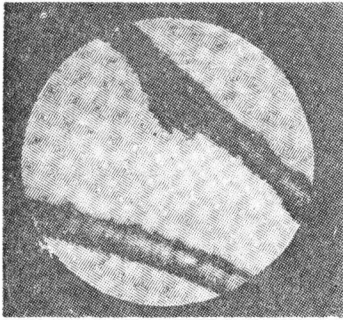
 <p>いが</p> <p>成虫一翅の開長 9mm内外</p>  <p>卵</p>  <p>幼虫 体長6.5mm内外</p>	<p>毎年1回発生し，常に扁平な袋状巣に生息し，羽毛，獸毛，毛織物，毛糸を喰害する。</p>
 <p>こいが</p> <p>成虫一翅の開長 10mm内外</p>  <p>卵</p>  <p>幼虫 体長6mm内外</p>	<p>毎年二回発生，隧道状の巢鞘に生息し，しだいに巣を伸ばして毛織物などを喰害する。</p>

B ウールの防虫剤は？

原 料	商 品 名 と 特 長
<p>パラジクロロール ベンゾール</p>  <p>を吹込み 結晶させ る ↓</p>	<p>モスノウ パラゾール パラ脳 水晶脳 ホドジン</p> <p>効力は良いが永続 性でない。</p>

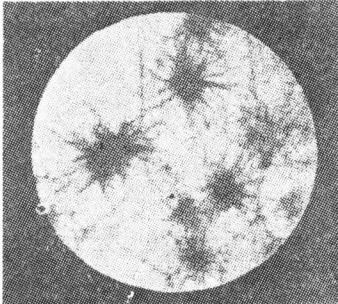
黴(かび)の侵害

A かびによるウール繊維の侵害

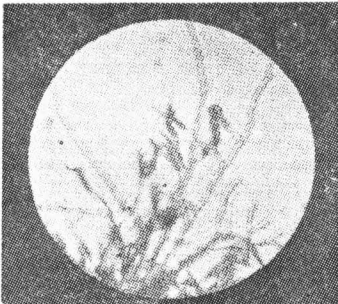


ウール

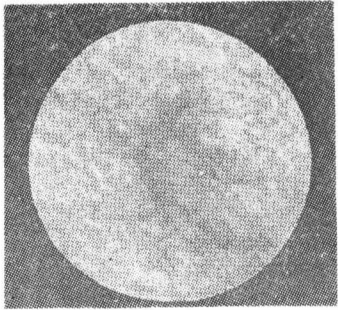
B ウールにつくかびの種類



Aspergillus ustus
C+, W+ or W-
綿毛状で、白色→褐黄色→褐灰色になるコウジカビで、外国で織物の試験菌として広く使用されている



Aspergillus oryzae
C+, W+
清酒コウジ・醤油コウジ・甘酒コウジになる日本コウジカビで黄緑色、後褐色となる。繊維素蛋白質分解力ある。



Aspergillus sulfureus
C+, W+
獣糞・鯨節などによく生える黄色あるいは黄褐色のコウジカビ適温35°C付近にあり、木綿・羊毛繊維の強伸度を劣下させる。

C ウールの防黴剤は？

化学薬品	商品名
弗化クロム	サンニット トリプトン パーマケム

おわりに

新しいうちは美しい外観を呈していたウール製品も洗濯やアイロンかけの際に注意を怠ると間もなく脆化を生じて来ます。又、アルカリ、害虫、かびによる損害もウール地にとって大敵です。ウールの品質、触感を維持する上に最適な手入れの条件、管理の方法について、図説を主体に述べて来ましたが、これから迎える秋、冬の衣生活の一助ともなれば幸いです。

(仲井真治子)